

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～25℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり0.5トンの水揚げで、前週の17%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで前週並み（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1.5kgの水揚げで、前週の68%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.56kgの水揚げで、前週の10%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3.7kgの水揚げで前週の74%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.79kgの水揚げで、前週の24%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり4kgの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、トビウオなどが1日1統当たり1.46kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり5.18kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり2.63kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり2.39kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/4～6/9の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は毎月10～11日出漁予定。赤イカは太平洋で操業中。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計34箱、スルメイカ（20～30入）16箱、ケンサキイカ（2～4立）18箱の混獲となった。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖に形成された。主漁場は山口沖、隠岐海峡及び能登半島となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>